

Title	附録
Author(s)	
Citation	懐徳. 1925, 3, p. 67-75
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/88717">https://hdl.handle.net/11094/88717</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 附 錄

第九年第一期懷德堂講義講演日誌自大正十四年一月至同年三月

一月十一日(日曜)

日曜朝講(第二百五回)聽講者十名

論語 自子張篇第十一章  
至同 第十八章

松山 教授

同 十二月(月曜)

定日講義(第六百五十回)聽講生六十六名出席四

十六名

教育勅語捧讀

松山 教授

韓非子 喻老篇首

稻束 講師

詩經 大雅韓奕

財津 講師

同 十四日(水曜)

定日講義(第六百五十一回)聽講生六十六名出席

三十一名

先哲叢談

自五井純禎『中井竹山非微』條  
至卷之四終

財津 講師

理學宗傳

自卷九、十六丁  
至同十八丁(王子傳習錄)

松山 教授

(第八十九回)

同 十五日(木曜)

定日講義(第六百五十二回)聽講生七十四名出席

四十九名

萬葉集 山上憶良、日本挽歌、子等を思ふ歌

(第一回)

林 講師

周易程傳

自噬 嗑

(第五十回)

松山 教授

同 十六日(金曜)

文科講義(第六十四回)聽講生三十七名出席二十

五名

『カンド』プロレゴメナ 第五節

(第八回)

朝永 講師

朱子語文精要 小學 爲學之方

(第二回)

松山 教授

同 十七日(土曜)

定期講演(第二百四十三回)聽講者八十八名

家庭教育と社會教育(第一回) 野上 講師

同 十八日(日曜)

日曜朝講(第二百六回)聽講者二十四名

論語

自子張篇第十九章  
至堯曰篇首

松山 教授

通俗講演(第五十三回)聽講者九十餘名

國民の海外發展問題 山本 講師

同 十九日 (月曜)

定日講義 (第六百五十三回) 聽講生七十七名出席

三十五名

韓非子 喻老 自楚莊王既勝條 稻束 講師  
至起事於無形條 財津 講師

詩經 大雅江漢

同 廿一日 (水曜)

定日講義 (第六百五十四回) 聽講生七十八名出席

二十三名

先哲叢談 自高玄俗至佐藤直方 財津 講師

理學宗傳 自卷九、十八丁 至同廿一丁 (王子傳習錄)

(第九十回)

松山 教授

同 廿二日 (木曜)

定日講義 (第六百五十五回) 聽講生八十二名出席

五十五名

萬葉集 山上憶良感情を反へさしむる歌  
世間に住み難さを哀しめる歌

(第二回)

林 講師

周易程傳 自噬嗑初九 (第五十回) 松山 教授  
至同 九四 (二回)

同 廿三日 (金曜)

文科講義 (講師病氣のため休講)

同 廿四日 (土曜)

定期講演 (第二百四十四回) 聽講者八十九名

日本に於ける社會生活の發達 (第一回)

西田 講師

同 廿五日 (日曜)

日曜朝講 (第二百七回) 聽講者二十五名

論語 自堯曰篇第二章 至大尾 孟子概說

同 廿六日 (月曜)

定日講義 (第六百五十六回) 聽講生八十三名出席

三十二名

韓非子喻老 自有形之類條 稻束 講師  
至昔晉公子重耳出亡條 財津 講師

詩經 大雅常武

同 二十八日 (水曜)

定日講義 (第六百五十七回) 聽講生八十三名出席

二十六名

先哲叢談 自佐藤直方至淺見安正 財津 講師

理學宗傳 自卷九、二十一丁 至同二十四丁 (王子傳習錄)

(第九十一回)

松山 教授

同 二十九日 (木曜)

定日講義 (第六百五十八回) 聽講生八十三名出席

四十七名

萬葉集 山上憶良鎮懷石をよめる  
歌外數首

(第三回)

林 講師

周易程傳

自噬噬六五  
至賁彖傳

(第五十回)

松山 教授

同 三十日(金曜)

文科講義(第六十五回) 聽講生三十七名出席二十名

二名

『カント』プロレゴメナ(第九回) 朝永 講師

朱子語文精要 爲學之方(第二回) 松山 教授

同 三十一日(土曜)

定期講演(第二百四十五回) 聽講者七十九名

家庭教育と社會教育 (第二回) 野上 講師

二月一日(日曜)

日曜朝講(第二百八回) 聽講者二十三名

孟子 自孟子概說(承前) 至梁惠王上首章 (第一回) 松山 教授

同 二日(月曜)

定日講義(第六百五十九回) 聽講生八十四名出席

三十一名

韓非子(講師爲病氣休講)

詩經 大雅瞻卬

財津 講師

同 四日(水曜)

定日講義(第六百六十回) 聽講生八十名出席二十四名

四名

先哲叢談

自淺見安正至安積覺

財津 講師

理學宗傳

自卷九、二十四丁  
至同二十七丁(王子傳習錄)

松山 教授

(第九十二回)

同 五日(木曜)

定日講義(第六百六十二回) 聽講生八十六名出席

四十八名

萬葉集

山上憶良貧窮問答の歌  
好去好來の歌

(第四回)

林 講師

周易程傳

自賁彖傳  
至同終尾

(第五十回)

松山 教授

同 六日(金曜)

文科講義(第六十六回) 聽講生二十七名出席十一名

名

『カント』プロレゴメナ(第十回) 朝永 講師

朱子語文精要 爲學之方(第三回) 松山 教授

同 七日(土曜)

定期講演(第二百四十六回) 聽講者八十七名

日本に於ける社會生活の發達

(第二回)

西田 講師

同 八日(日曜)

日曜朝講(第二百九回) 聽講生二十一名

孟子 自梁惠上第二章 (第二回) 松山 教授

通俗講演(第五十四回) 聽講者五十餘名

我國租稅の體系につきて 神戸 講師

同 九日(月曜)

定日講義(第六百六十二回) 聽講生八十七名出席

二十六名 韓非子 喻老 自昔者紂爲象箸條 稻束 講師

詩經 大雅召旻 至王壽負書而行條 財津 講師

同 十二日(木曜)

定日講義(第六百六十三回) 聽講生八十七名出席

四十七名 萬葉集 山上憶良好去好來の反歌 林 講師

歌外數首(第五回) 天皇香具山に登りて國見せず時の御製

周易程傳 自賁大象 (第五十回) 松山 教授

同 十三日(金曜)

文科講義(第六十七回) 聽講生三十七名出席九名

レムベン、ウント、ビルヅング グロツセ。

デイヒツング 第十四回 藤代 講師

杜詩偶評卷二 題李尊師松樹障子歌外五首

(第二十三回) 鈴木 講師

同 十四日(土曜)

定期講演(第二百四十七回) 聽講者八十七名

家庭教育と社會教育 (第三回) 野上 講師

同 十五日(日曜)

日曜朝講(第二百十回) 聽講生二十八名

孟子 自梁惠上第四章 (第三回) 松山 教授

同 十六日(月曜)

定日講義(第六百六十四回) 聽講生八十九名出席

三十名 韓非子 喻老 自夫物有常客條 稻束 講師

詩經 周頌清廟我將 至楚莊王莅政三年條 財津 講師

同 十八日(水曜)

定日講義(第六百六十五回) 聽講生八十九名出席

先哲叢談 自安積覺至源君美 財津 講師

理學宗傳 自卷九、二十七丁 至同三十一(王子傳習錄) 松山 教授

(第九十二回)

同 十九日 (木曜)

定日講義 (第六百六十六回) 聽講生八十九名出席  
三十八名

萬葉集 天皇内大臣藤原朝臣に詔して春山の花の  
艶と秋の千葉の彩を競はせたまふ時額田  
王歌を以て判りたまへる歌  
近江荒都を過ぐる時に柿本朝臣人麿のよ  
める歌 外數首

(第六回) 林 講師  
周易程傳 自賁六五 (第五十) 松山 教授  
至剝象傳 (六回)

文科講義 (第六十八回) 聽講生三十七名出席五名  
『カント』プロレゴメナ 休 講

同 二十一日 (土曜)  
朱子語文精要 爲學之方 (第四回) 松山 教授

定期講演 (第二百四十八回) 聽講者六十一名  
日本に於ける社會生活の發達

(第二回) 西田 講師  
同 二十二日 (日曜)

日曜朝講 (第二百十一回) 聽講者十七名  
孟子 自梁惠上第七章齊桓晉文章至同章半

(第四回) 松山 教授

同 二十三日 (月曜)

定日講義 (第六百六十七回) 聽講生八十九名出席  
二十四名

韓非子 自喻老楚莊王欲伐越條 稻束 講師  
至說林上子胥出走條  
詩經 周頌時邁噫嘻 財津 講師

同 二十五日 (水曜)  
定日講義 (第六百六十八回) 聽講生八十九名出席  
十五名

先哲叢談 源君美 財津 講師  
理學宗傳 自卷九、三十丁  
至同三十三丁 (王子傳習錄)

同 二十六日 (木曜)  
定日講義 (第六百六十九回) 聽講生九十名出席四  
十名

萬葉集 吉野宮に幸ませる時柿本  
人麿のよめる歌 外數首

(第七回) 林 講師  
周易程傳 自剝大象 (第五十) 松山 教授  
至同六五 (七回)

同 二十七日 (金曜)  
文科講義 (第六十九回) 聽講生三十七名出席十名  
レエベン、ウント、ビルツング グロツセ、

デイヒツング (第十五回) 藤代 講師

杜詩偶評卷二 觀打魚歌外七首 鈴木 講師

(第二十四回)

同 二十八日 (土曜) 鈴木 講師

定期講演 (第二百四十九回) 聽講者六十三名

家庭教育と社會教育 (第四回) 野上 講師

三月一日 (日曜)

日曜朝講 (第二百十二回) 聽講者二十名

孟子 自梁惠上第七章曰不爲者節 松山 教授

(第五回) 至同章吾慚不能進於是矣節

臨時通俗講演 聽講者約三百名 穗積 講師

家族制度につきて

同 二日 (月曜) 穗積 講師

定期講演 (第六百七十回) 聽講生九十名出席二十

三名

韓非子 說林上 自慶封爲亂於齊條 稻束 講師

至韓宣王謂膠留曰條

詩經 周頌振簋載見 財津 講師

同 四日 (水曜) 財津 講師

定期講演 (第六百七十一回) 聽講生九十名出席十

四名 先哲叢談 自源君美至室直清 財津 講師

理學宗傳 自卷九、三十三丁 至同三十五丁 (王子傳習錄) 松山 教授

(第九十五回)

同 五日 (木曜) 松山 教授

定期講演 (第六百七十二回) 聽講生九十名出席三

十七名

萬葉集 舍人娘子の駕に從ひてよめる歌 外數首 林 講師

(第八回) 自剗上九 (第五十) 松山 教授

周易程傳 至復象 (八回)

同 六日 (金曜) 松山 教授

文科講義 (第七十回) 聽講生三十七名出席十二名

『カント』プロレゴメナ (第十二回) 朝永 講師

朱子語文精要 存養 (第五回) 松山 教授

同 七日 (土曜) 松山 教授

定期講演 (第二百五十回) 聽講者六十四名

日本に於ける社會生活の發達 西田 講師

(第四回)

同 八日 (日曜) 西田 講師

日曜朝講 (第二百十三回) 聽講者二十三名

孟子 自梁惠上第七章五畝之宅節  
至梁惠下第三章

(第六回)

松山 教授

同 九日 (月曜)

定日講義 (第六百七十三回) 聽講生九十名出席二

十一名

韓非子

說林上 自紹績味醉寐條  
至會從子善相劍者也條

稻束 講師

詩經 周頌有客載芟

財津 講師

同 十一日 (水曜)

定日講義 (第六百七十四回) 聽講生九十名出席十

六名

先哲叢談

自室直瀆至三宅緝明 財津 講師

理學宗傳

自卷九、三十五丁  
至同三十八丁 (王子傳習錄)

松山 教授

同 十二日 (木曜)

定日講義 (第六百七十五回) 聽講生九十二名出席

三十四名

萬葉集

(第九回)

林 講師

周易程傳

自復彖傳  
至同六四

(第五十九回) 松山 教授

同 十三日 (金曜)

文科講義 (第七十一回) 聽講生三十八名出席十四名

レエベン、ウント、ビルツング グロッセ、

デイヒツング (第十六回) 藤代 講師

杜詩偶評卷二 閩山歌至丹青引

(第二十五回)

鈴木 講師

同 十四日 (土曜)

定期講演 (第二百五十一回) 聽講者六十五名

家庭教育と社會教育 (第五回) 野上 講師

同 十五日 (日曜)

日曜朝講 (第二百十四回) 聽講者二十七名

孟子 自梁惠下第四章 (第七回) 松山 教授

同 十六日 (月曜)

定日講義 (第六百七十六回) 聽講生九十二名出席十七名

席十七名

韓非子 說林上 自紂爲象箸條  
至篇尾 稻束 講師

詩經 (爲講師病氣休講) 財津 講師

同 十八日 (水曜)

定日講義 (第六百七十七回) 聽講生九十二名出席

十七名



先哲叢談 (休講)

理學宗傳 自卷九、三十八丁  
至同四十二丁 (王子傳習錄)

(第九十七回)

松山 教授

同 十九日 (木曜)

定日講義 (第六百七十八回) 聽講生九十二名出席

三十五名

萬葉集

柿本朝臣人麿石見國より妻に別れ  
て上り來る時の歌 外數首

(第十回)

林 講師

周易程傳 自復六五至无妄大象

(第六十回)

松山 教授

同 二十日 (金曜)

文科聽義 (第七十二回) 聽講生三十八名出席十二名

名

『カント』プロレゴメナ (第十三回) 朝永 講師

朱子語文精要 存養 (第六回) 松山 教授

同 二十一日 (土曜)

定期講演 (爲大祭日休講)

同 二十二日 (日曜)

日曜朝講 (第二百十五回) 聽講生二十三名

孟子 自梁惠下第七章 (第八回) 松山 教授  
至同第十章

通俗講演 (第五十五回) 聽講者百餘名

經濟の發達

(第一回) 本庄 講師

同 二十三日 (月曜)

定日講義 (第六百七十九回) 聽講生九十二名出席

二十名

韓非子 (爲講師病氣休講)

稻束 講師

詩經 周頌良耜般

財津 講師

同 二十五日 (水曜)

定日講義 (第六百八十回) 聽講生九十二名出席十

五名

先哲叢談 自三宅緝明至佐藤廣義

(第三十七回)

財津 講師

理學宗傳

自卷九、四十一丁  
至同四十四丁 (王子傳習錄)

(第九十八回)

松山 教授

同 二十六日 (木曜)

定日講義 (第六百八十一回) 聽講生九十二名出席

三十一名

萬葉集

柿本朝臣人麿が妻の死にし後かな  
しみてよめる歌

(第十一回)

林 講師

周易程傳 自无妄初九至同六二

(第六十一回)

松山 教授

同 二十七日 (金曜)

文科講義 (第七十三回) 聽講生三十八名出席十一名

レエベン、ウント、ビルツング (第十七回) 藤代 講師

デイヒツング (第十七回) 藤代 講師

杜詩偶評卷二 自憶昔至縛雞行 鈴木 講師

(第二十六回)

同 二十八日 (土曜)

定期講演 (第二百五十二回) 聽講者五十六名

日本に於ける社會生活の發達 西田 講師

(第五回)

同 二十九日 (日曜)

日曜朝講 (第二百十六回) 聽講者二十四名

孟子 自梁惠下第十一章 (第九回) 松山 教授

同 三十日 (月曜)

定日講義 (第六百八十二回) 聽講生九十二名出席

十八名

韓非子 說林下 自篇首至荆令 稻束 講師

詩經 魯頌 駟泮水 財津 講師